

ユニフォーム作製にあたって

日本小学生バレーボール連盟

はじめに

公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）主催の大会に参加するチームは JVA が定めるユニフォーム規定及び日本小学生バレーボール連盟のユニフォームに関する基本的な考え方を遵守しなければなりません。各チームがその内容を熟知した上でユニフォームを作製できるように本文書を作成いたしました。

1. ユニフォーム規程について

資料「公益財団法人 日本バレーボール協会 競技要項 P68～70」参照

特に、以下の点について再確認をし、規定に合わないユニフォームは、大会（JVA 主催大会）に向けて手直しか再作製をする必要があります。

3. 選手番号

- (1)ユニフォーム(ジャージ(シャツ))には、選手番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。

(例)



5. チームネーム

- (1)ジャージ(シャツ)の胸部もしくは背部に、JVA-MRS に届け出たチームネームまたはそれを特定できる略称のいずれかを付けなければならない。サイズは規定しない。また、チームのシンボルマーク(社章・校章・略号)も付けてもよい。
- (2)ジャージ(シャツ)の袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてもよい。なお、都道府県名の大きさはチーム名よりも小さいこと(高さが低いこと)

番号が明確に表示されていない例



番号が枠だけ



柄と番号が同化している





地の色と対照的ではない



銀色で光って見えづらい

2. ウェア・シューズ・サポーター公認制度について

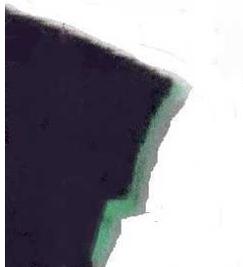
毎年度ごと、JVA 公認企業ロゴ一覧が示されますので、ご確認ください。

3. 日本小学生バレーボール連盟としての基本的な考え

(1) ユニフォームのデザインについて

ノースリーブのユニフォームに関して、肌の露出部分を多くすることで擦り傷等のけがや盗撮のリスクがあることから着用は好ましくない。

許容されるデザイン（フレンチリーブ、キャプスリーブ）



(2) シャツのインとアウトについて

見た目も良くなく、パフォーマンスにも影響することが予想されることや肌の露出の点で怪我や盗撮のリスクもあることから**シャツを入れるよう指導する**。

ただし、夏の大会で空調設備のない会場で開催する場合や会場内の熱中症指数が上がっている場合など、状況によってはシャツを出して着用することを認める。その判断は、各大会ごと主催（主管）者によって行い、大会要項または代表者会議にて示す。

ベンチスタッフについては、選手と同様にシャツを入れるのが好ましいが、チームの判断に委ね、指導はしない。

2022年2月27日

都道府県協会・全国連盟
競技委員長 各位

公益財団法人日本バレーボール協会
業務執行理事・事務局長代行 村上 成司

ウェア・シューズ・サポーター公認制度について

平素より、バレーボールの普及・発展にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、JVA 主催大会競技要項(ユニフォーム規程)に基づき、2009年よりご案内してまいりました標記「ウェア・シューズ・サポーター公認制度」ですが、おかげさまで各大会において定着し、円滑に運用されております。(シューズ、サポーターについては、ユニフォーム規程には含まれておりませんが、公認・推薦制度に基づいて実施されるものをご理解ください。)

2022年度におきましても、引き続き、趣旨をご理解いただき下記の要領にてご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

記

- (1) 大会エントリーの際に、チームより別紙「ユニフォーム・シューズ・サポーター確認書」もあわせて提出していただく。
- (2) 【ユニフォーム】公認企業以外のものを使用する場合は、各チームが予めロゴを露出させないように処理をする。
- (3) 【シューズ】公認企業以外のものを使用する場合は、各チームが予めそのラインの一部を隠すなどの処理をする。
- (4) 【サポーター】公認企業以外のものを使用する場合は、各チームが予めロゴを露出させないように処理をする。
- (5) ベンチに入るチーム役員についても同様の取扱いとする。
- (6) プロトコールからゲーム終了までの取扱いとするが、試合後の公式行事(表彰式や記者会見を開催する場合は含むものとする)。
- (7) 対象は JVA 主催国内競技会(全国大会)とするが、都道府県予選会も可能な限りこれに準じるものとする。
- (8) 当日の著しい違反の防止のため、マスキングテープを用意し、実行委員長の判断のもとに処理をする。
- (9) Vリーグ機構所属チームの JVA 主催国内競技会における適用は別途定める。

以上

【添付資料】

1. 「ウェア・シューズ・サポーター確認書」
2. 当年度公認企業ロゴ一覧

【ウェア】

アシックス	
デサント	
ミズノ	
ファイテン	
ドーム (アンダーアーマー)	
トンボ (ヴィクトリー)	
フラスコ100cc (ミレグラ)	
ファースト フロンティア (ALST)	
アクラム	
トレス	
ボルトン	
スポルディング ジャパン	
ヘインズブランズ ジャパン (チャンピオン)	
エスエスケイ (ヒュンメル)	

【サポーター】

アシックス	
デサント	
ミズノ	
D&M	
日本シグマックス (ザムスト)	
アルペン	
ファイテン	

【シューズ】

アシックス	
デサント	
ミズノ	

■プレーヤーの皆さまへ■

JVAが主催する全国大会および全国規模の大会においては、プロトコール(コート入場)からゲーム終了(コート退場)まで、公認企業の製品のマニファクチャーロゴ(シューズは企業を連想させるライン等)の露出を許可しております。

公認企業以外のマニファクチャーロゴの露出は禁止しておりますので、ご理解の程、お願いいたします。

I-5 国内競技大会参加チームのユニフォームについて

ユニフォーム規程

2019年3月
国内競技委員会

1. 目的

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会(以下 JVA)が主催する国内競技大会に参加するチームのユニフォームや役員の服装についてその詳細を定めることを目的とする。
- (2) Vリーグ参加チームのユニフォームについては別に定める。また、JVA と他の団体が共催する大会で別に定められた規程がある場合は、その規程に従う。

2. ユニフォーム

(1) ユニホーム

- ① ユニフォームとは、ジャージ(シャツ)、ショーツを指す。6人制においてはソックスもユニホームに含まれる。
- ② ユニフォームは配色やデザインが統一されていなければならない。(リベロプレーヤーを除く)
- ③ チームは、カラーの異なった2種類のユニフォーム(ジャージ(シャツ)・ショーツ)を用意することが望ましい。
- ④ ユニフォームのメインカラー(主たる色)は、概ね2/3以上を占めていることとする。
- ⑤ リベロプレーヤーはチームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともジャージ(シャツ)だけは)を着用しなければならない。(明瞭に区別できる色・デザインであること。)

(2) ジャージ(シャツ)・ショーツ

- ① ジャージ(シャツ)およびショーツは色、デザインが統一されていること。
- ② ジャージ(シャツ)は半袖、長袖、ノースリーブが混在していてもよい。

(3) ソックス

- ① 色および長さが統一していること。

3. 選手番号

- (1) ユニフォーム(ジャージ(シャツ))には、選手番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。

- (2) 選手番号は6人制においては1～20番、9人制においては1～18番までとする。ただし、やむを得ない場合は1～99番まで認める。

- (3) 選手番号のサイズは、次の通りとする。

6・9人制とも	高校生以上		小・中学生	
	高さ	字幅	高さ	字幅
①シャツ胸部・中央	15cm 以上	2cm 以上	10cm 以上	2cm 以上
②シャツ背部・中央	20cm 以上		15cm 以上	

- (4) ショーツ前面下に、高さ4～6cm、字幅1cm以上の選手番号を付けてもよいが、全員がそろっていないなければならない。

4. チームキャプテン

- (1) チームキャプテンは、胸のナンバーの下に、長さ8cm、幅2cmのマークを、ジャージ(シャツ)と異なった色で付けていなければならない。

5. チームネーム

- (1) ジャージ(シャツ)の胸部もしくは背部に、JVA-MRS に届け出たチームネームまたはそれを特定できる略称のいずれかを付けなければならない。サイズは規定しない。また、チームのシンボルマーク(社章・校章・略号)も付けてもよい。

- (2) ジャージ(シャツ)の袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてもよい。なお、都道府県名の大きさはチーム名よりも小さいこと。(高さが低いこと)

6. 選手名 ※小学生連盟では付けない

- (1) ジャージ(シャツ)背部の上部中央に、着用する選手の選手名または通称を表示してもよい。(選手名の表示を認めていない種別を除く)
 - ① 選手名を表示する場合、出場する選手全員が表示することら
 - ② 選手名のサイズは、高さ6～8cmとする。
 - ③ 文字は、アルファベット横書きにより哀話するものとする。
 - ④ 表記は直線状または、肩の曲線に合わせたゆるやかな曲線状とする。

7. マニファクチャーロゴ

- (1) ユニフォームには、JVAが公認しているメーカーに限り、最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャーロゴをジャージ(シャツ)・ショーツにそれぞれ一箇所だけ付けることが許される。(ソックスは、左右各々の、内側と外側に付けてもよい)

8. スポンサーロゴ及びユニフォーム広告 ※小学生連盟では付けない

- (1) ユニフォームにチームスポンサー名または商品名・商標・ロゴマーク及びユニフォーム広告を付けることができる。ただし、別途定める「ユニフォーム広告に関する規程」に従うこととする。
- (2) 試合会場(体育館等)の規程により、広告掲載料が発生した場合は、当該チームがその実費を支払うものとする。

9. その他

- (1) ユニフォームには、上語3～8以外のものの表示認められない。

10. トレーニングウェア

- (1) トレーニングウェアは全員が統一されていることが望ましい。
- (2) トレーニングウェアにはチームネーム、選手名、選手番号を付けることができる。
- (3) トレーニングウェアには最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャーロゴを付けることができる。
- (4) スポンサー広告については、上記8と同様な扱いとする。

11. アンダーウェア等について

- (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
- (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険がある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター、コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

12. ペンチスタッフの服装

- (1) ペンチスタッフはジャケットを着用するか、スタッフで統一された服装でなければならない。
- (2) 部長や監督がジャケットを着用し、その他のスタッフが統一された服装であれば許可される。
- (3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (4) ペンチスタッフの着用する服装には最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャーロゴを付けることができる。
- (5) スポンサー広告については、上記8と同様な扱いとする。

以上

この規程は2019年3月31日より実施する。